



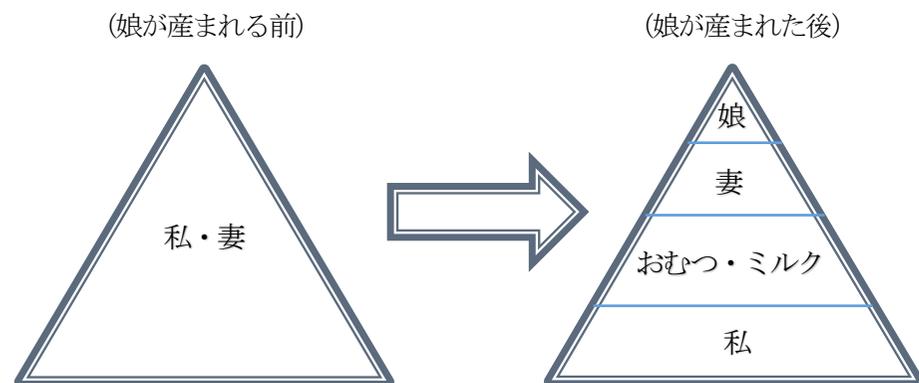
兵庫県立明石南高等学校
77回生年次通信 No.57
2023年12月13日発行

時代は変わるなあ～

7組担任・笹山 瞬

6月に第一子となる娘が生まれ、早くも5カ月が経った。我が子というのはこんなに可愛いものかと毎日溺愛している。家に帰ったら、娘を抱っこし、お風呂に入れることが毎日の楽しみになっている。本当に自分でも思う、超親バカだなと。しかし、いずれは娘も憎たらしくなり、私の言うことに反抗する日がくるのだろう。だから、今この時間を思う存分楽しませてもらおう。

娘が誕生して以降、笹山家の階級構造も変化しつつあるように思う。以下図に示しておこう。



ご覧のように、最下層に転じた私は、何とか家族に貢献しようと必死だ。仕事に行ってお金を稼ぎ、皿洗い（食洗器にはぼ任せている）、風呂掃除（たまに忘れたふりをする）など何とかやれることをやっている状態だ。（余談：この年次通信用のエッセイを家で作成していたのだが、ここまでの内容を妻に見られ、風呂掃除忘れたふりすんなど怒られた。さらに明石南のHPを最近妻が閲覧し始めたそう。どうかこの年次通信がバレませんように...）

笹山家の構造が変わるように、時代とともに色んなことが変わったなと改めて思う。私が働き始めた10年前は育休を取得する男性を見ることは稀であったが、最近では取得する男性も増えた。私の高校時代は1月にセンター試験（共通テスト）を受けて、2月の一般入試で大学に合格するのが普通であったが、今は早めに大学に合格し、のんびり年越しをする生徒が増えている。16年前（君たちが産まれた頃）の出生数は約110万人だが、今年は70万人程度らしい。恐ろしいほど日本の人口は減少している。これだけ出生

数が減っているにも関わらず、大学の数は増えている。おそらく数年後はつぶれていく大学がたくさん出てくるだろう。人手不足も深刻で、修学旅行のバスの運転手が不足しているというニュースも目に入る。日本はこれからどうなるのか？たまに私も自分の仕事なくなるのではないかと思うときがある。このままこの仕事を続けられるのか？

これからは私も含めて君たちはものすごい時代を生きることになるだろう。なにしろ15年後の高校生は今より1/3（40万人）も減るのだから。与えられた仕事をただこなすのではなく、大きく変化する時代にしっかりアンテナをはって生きてほしい。ぼーんぼーんと生きていくと、本当に突然大変なことになるかもしれない。誰がヨーロッパ（ウクライナ）で戦争が起こることを予想できただろう。誰がコロナで経済が停滞すると予想できただろう。この先、平和がずっと続くとは限らない。私はそう思っている。

かといってマイナス思考に走るわけにはいかない。頭をフル回転させ、日々を過ごしていこう。最後に私の好きな言葉を残してエッセイを終えたい。

“練習は嘘をつかないって言葉があるけど、頭を使って練習しないと普通に嘘つくよ”

by ダルビッシュ有

部活動大会結果

◆女子ハンドボール部県大会5位入賞

11/18（土）・19（日）に行われた県新人大会で5位入賞しました。おめでとうございます。2年次生は向井優里さん（7組）が出場しました。今後ますますの活躍を期待しています。

制服・私服併用期間が始まりました

今日から12/21（木）まで制服・私服併用期間となっています。生徒会通信に守るべきマナーが掲載されていましたが、常識の範囲内で登校時の服装を考えて下さい。併用期間を設ける趣旨を下記に掲載しておきます。なお、12/18（月）にホテルキャッスルプラザで行われる学校説明会は制服での参加とします。気をつけて下さい。

- ① 個々に応じた過ごしやすい服装で学校生活を送る。
- ② 人格を尊重し、個性の伸長を図りながら、社会的資質や行動力を高める。
- ③ 気候や登下校にふさわしい服装を自ら選択し、主体性・自主性・判断力を培う。

人権 LHR を振り返って

人権教育担当・橋本 美佳

11月20日、27日に人権 LHR を行いました。1時間目は「アンコンシャス・バイアス」、2時間目は「性の多様性、LGBTQ」についての学習を行いました。

1時間目は、無意識の思い込みである「アンコンシャス・バイアス」について、十分な根拠なしに持つ偏った判断や意見であるということを知りました。この思い込みが生じる原因として、脳が情報処理を行う過程で起こる思考のショートカットや、自己防衛心、周囲からの刷り込み等があり、思い込みが生じてしまうことは誰にでもあり得ることであると確認した上で、身の周りにある具体的な「アンコンシャス・バイアス」について考えました。決めつけや思い込みは、自分自身の可能性を狭めることや、知らないうちに相手を傷つけることもあり、それが起きないようにするためには、相手の気持ちを考え、自分が正しいと思わずに、様々な考え方があるということに気づくということが必要であると学びました。授業の後半では「男らしさ、女らしさ」という言葉があるけれど、そういう決めつけってどう思う？という切り口で、「LGBTQ」についての学習をしました。身体的な性別と心の性別が異なるトランスジェンダーの高校生の体験談を読み、本人の苦悩や、相談されたらどのような対応をするべきであるかということを考えました。

2時間目は、兵庫県人権啓発協会が制作した『バースデイ』という映像を見ました。内容は「主人公の美由紀は、娘だと思ってきた笑花から自認する性が男性であるということを知られ、激しく動揺します。親としてはじめは拒絶する美由紀ですが、周囲の人々との交流により、性の多様性について少しずつ理解が進み、自分らしく生きようとする我が子の苦悩や願いに気づき、向き合っていこうとする。」というものでした。この映像を見て、生徒たちはそれぞれ、皆にとって生きやすい世の中とはどのようなものかと考えを深めていました。

《生徒の感想文より》

☞この映像を見て、自分の気持ちを分かってももらえないのはとても辛いことなんだと改めて気づかされました。映像の中で笑花（尊）が「女で生きるということは、この人生をあきらめろってことだよ。」と言った言葉がささりました。確かに本当の自分ではない偽った自分で生きていくのは、一度きりの人生を失ってしまうような気がしました。現代ではLGBTQを含め、多様な生き方があるけど、その反面、陰口や偏見が絶えません。皆にとって生きやすい社会にするにはどうすればいいのか。個人にできることはないか改めて考えようと思いました。（1組）

☞私はLGBTQについて理解できていると思っていたけれど、身近な人になると話は難しくなることを知った。あと、私たちの世代は子どもの頃からLGBTQを学んでいるけれど、親の世代以上は学んでいないので偏見があり、認めにくいかもしれないと思った。だから、大人にも学んでほしいと思った。（1組）

☞LGBTQについては中学の頃に勉強していたから分かっていたつもりだったけれど、映像を見て、もし自分の身近な人が、トランスジェンダーだったらとは想像もしていなかったもので、今回の映像を見て改めて現実にはこんなに大変なんだと実感しました。周りから白い目で見られるかもしれないという怖さもあるし、主人公のお母さんの気持ちも分からなくはないと思いました。改めてLGBTQのことを知れて良かったと思いました。（2組）

☞子どもがトランスジェンダーであるという事をうちあけて、親が半月も一緒に過ごさないのは、子どもが自分を責める原因になると思いました。会社の人みたいに受け入れてくれる人もいるけれど、中にはそうでない人もいて、この世の中の人みんな受け入れることができるようになればいいのにと思いました。普通ではないなどと責めずに、認めることも大切と改めて知ることができました。（3組）

☞『バースデイ』を見て、実際にトランスジェンダーである人の生活についてよく学ぶことができました。トランスジェンダーである人自身はもちろん、家族もつらい思いをしてしまう今の社会を直していくことが大切だと思いました。トランスジェンダーの人々が生活しやすい環境づくりを周りの人間が作っていくことが大きな一歩だと思いました。（4組）

☞自分がトランスジェンダーだと分かった時に、家族に打ち明けるのも怖くて、いざ打ち明けても認めてもらえず、唯一の居場所だと思っていた会社も安らぐ場所でもなくなってとても辛そうだった。自分の子どもで大切だからこそ、認められない親の気持ちも分かるので、とても難しい問題だと思った。だから、私たちは周りにトランスジェンダーの人がいても傷つくようなことは言わず、言っている人がいたら、注意できるようになるべきだと思った。（5組）

☞理解という言葉だけで分かったつもりになるのはダメだと思った。本人は偏見があることも分かった上で過ごすのはとても辛いことだし、年配の人は知識がない分、心ない言葉をかけてしまうのだと感じた。『バースデイ』のように自分が好きな姿で好きなことをして生きていくのは、LGBTQでなくても大切なことだと思う。笑花の職場の人のように「この人はこういう人なんだ」と一つの個性として接することができたら良いなと考える。（6組）

☞LGBTQの人は自分だけではすごく苦しんでいることが分かった。職場のように理解してくれる場所があったら、心の拠り所になるんだと思った。苦しんでいる人を理解して分かってあげられることが必要だと思う。（7組）

11月の出欠状況

11月のはべ数で欠席者198名、遅刻者87名、早退者45名でした。相変わらず数が多いですね（涙）。インフルエンザに感染する人も絶え間なく出ていて、検査の結果は陰性でも発熱による欠席者がかなり多いです。1年次では学級閉鎖もありましたので、感染予防を十分に行い生活して下さい。